

若者防災シンポジウム 参加者募集

「災害伝承の過去・現在・未来」

～東日本大震災から10年、阪神・淡路大震災から26年、熊本地震から5年～

過去の大災害から年月が経つにつれ、震災を経験していない方の数は増え続けています。毎年のように災害が発生している日本では、災害の経験や防災の共有が必要とされている中、持続可能な防災啓発や教育モデルが構築されていないことが課題です。そして、震災を経験していない私たち若者は、知識や経験値が乏しく、実践活動の幅が狭まっています。そのため、他団体との連携による防災活動の多様化や持続可能な防災活動の構築及びそれを担う人材の育成が必要です。

私たちと一緒に、将来の防災啓発活動を考えませんか？

開催概要：各地域や学校で実施してきた防災啓発や伝承活動、今後新たに構想する防災継承の形の発表・意見交換など。

発表テーマ：「若者にできる防災」
1団体につき発表10分程度
質疑応答3分程度



開催日時

2021年2月21日(日)

14:00～17:00

参加方法：Zoomで原則オンライン参加
東北(仙台市)在住の方は現地参加も可

参加費：無料

応募資格：27歳以下(高校生・大学生・若者語り部など)で災害伝承の実践活動に興味があり、地域や学校において実施したことがある方【聴講または登壇を選択。聴講の場合、上記の年齢等の制限なし】

応募方法：Googleフォームに必要事項を記入(下記のQRコードから)

応募締切：11月20日(金)～1月12日(火)
【応募多数の場合は抽選(聴講)または選考(登壇)あり】

選考基準や当日の参加方法は
応募後にお知らせします。



私たち「I17KOBEBOUSAI委員会」のプロジェクトについて

私たちは阪神・淡路大震災の経験や教訓を伝えるため、普段は小中学校でのぼうさい授業やワークショップを展開しており、現在は、兵庫県内の大学生約60名で活動しています。今回は2021年2月、東日本大震災から10年を迎える東北へ被災地訪問します。被災の跡が残る地で、災害の恐ろしさや現地の方々の想いを学び感じることに加え、今回は伝承や防災啓発活動を行う若者との交流を新たに広げたいという考えのもと、本シンポジウムを開催します。

12月2日(水)まで、クラウドファンディングに挑戦しています。頂いたご支援は、シンポジウム開催費・旅費交通費にあてさせていただきます。

こちらもご支援、よろしく願いいたします。

<https://motion-gallery.net/projects/I17kobebousai>

お問合せ先：I17KOBEBOUSAI委員会事務局 I17kobe@kobe-np.co.jp

Instagram→@I17kobe_bousaic

Twitter→@I17KOBEmasuter